

研究区分	教員特別研究推進 地域復興
------	---------------

研究テーマ	児童相談所の保健師に対する教育プログラムの研究				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	藤田 登志美
	研究分担者	所属・職名	看護学部・非常勤職員	氏名	杉山 眞澄
		所属・職名	静岡県中央児童相談所・主幹	氏名	山本 由美子
		所属・職名	静岡県富士児童相談所・主任	氏名	白砂 詩織
		所属・職名	静岡県中部健康福祉センター 地域医療課・地域医療班長	氏名	瀧 恵子
		所属・職名	静岡市児童相談所	氏名	高橋 美華
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	藤田 登志美

講演題目	児童相談所の新任保健師に対する教育ツールの検討
------	-------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

【研究目的】

日本における児童虐待対策は継続的な重点課題とされ、令和4年の児童虐待防止に関する法律の改正では全児童相談所に保健師を配置することが義務付けられた。児童相談所の保健師は単独配置であることが多いため、新たに配属された保健師が着任後すぐに必要となる児童福祉分野特有の医療保健に関する知識や技術の理解を促進するための教育ツールを作成することを目的とした。

【成果】

第一回令和6年4月30日(火)、第二回5月31日(金)、第三回9月8日(日)、第四回12月21日(土)には、対面またはオンラインで教育ツールの企画検討を行った。この間10月28日(月)の第12回全国保健師教育機関協議会秋季教員研修会への参加、10月29日(火)～10月31日(木)の第83回日本公衆衛生学会総会への参加、令和7年2月9日(日)の児童相談所に働く保健師の集いへの出席をし、児童相談所の実態や児相保健師に対する現任教育に関する最新の知見を得て、ツール作成の参考とした。

資料の作成は分担で行い、令和7年2月に、よくある事例とその対応を主とした本文66頁及び参考資料から成る「静岡県の児童相談所保健師の知恵袋」が完成した。

【今後の展望】

静岡県の児童相談所長会の承認を受け、県内児童相談所等関係機関に配付又はデータ配信を行うとともに、効果判定のアンケート調査の実施を検討している。

